



関西国際大

いち まる まる まる

1000 千の会

戦争体験 伝える

沖縄での戦争体験を語り継ぐ同好会「1000 (いちまるまるまる) 千の会」。「1000 人の方々から証言を集めて、それを後世の 1000 人の人たちに伝えていくこと」を目標に活動し、今年 3 月中旬には絵本「美(ちゅ)ら島ぬ思い」を製作した。

沖縄の思いを絵本に



代表の池間碧さん(左)と上原紗希さん

千の会としての製作物は、今回の絵本で2つ目になる。1つ目は2009年の結成から3年ほどたった2012年の春、10数人からの聞き取りをまとめた証言集だった。「どつすれはもっと分かりやすく伝わるか」。試行錯誤した結果、部員のほとんどが教員を目指していることも影響し、教材で使える絵本として形に残すことになった。

代表の池間碧(みどり)さん(関西国際大・4年)は、活動の中で沖縄に5回、部員の上原紗希さん(同・4年)は3回赴いた。また、すでに卒業したOBには10回以上訪問した人もいたという。そうして収集した証言の中で、絵本のテーマに選んだのは「集団自決」。戦争体験を伝えるものは数あれど、「あまりない内容のものを作りたい」と相談した結果だった。内容を決めてからは、構成を考えたり絵を描いたりと協力しながら製作。途中「2012年度KUISチャレンジプログラム」に自ら応募し、採択された。池間さんは「選ばれず大学からの支援を受けていなければ、きっとできなかったと思う」と明か

68年前の記憶 子どもたちに

活動の中で印象的だったこととして、上原さんはある語り部との再会を挙げる。中学生のときにも戦争体験を聞いたことがあった上原さん。詳しい内容までは覚えていなかったが、自分と名字が同じだったことから記憶が呼び起こされた。まさに偶然の再会だった。また池間さんの場合は、現地でのお年寄りの男性との立ち話という。立ち話といっても内容は重く、米兵から逃げる途中に銃弾を3発浴びて倒れこみ、その場は死んだふりをしてやり過ごした体験談だった。「人が人をそう扱うのは信じられなかった」と話す。しかし、いざ絵本が完成してそのお年寄りに渡そうと沖縄に向かったが、そこで亡くなったことを知った。世代の移り変わりを実感した瞬間だった。

変わる世代を実感

活動の中で印象的だったこととして、上原さんはある語り部との再会を挙げる。中学生のときにも戦争体験を聞いたことがあった上原さん。詳しい内容までは覚えていなかったが、自分と名字が同じだったことから記憶が呼び起こされた。まさに偶然の再会だった。また池間さんの場合は、現地でのお年寄りの男性との立ち話という。立ち話といっても内容は重く、米兵から逃げる途中に銃弾を3発浴びて倒れこみ、その場は死んだふりをしてやり過ごした体験談だった。「人が人をそう扱うのは信じられなかった」と話す。しかし、いざ絵本が完成してそのお年寄りに渡そうと沖縄に向かったが、そこで亡くなったことを知った。世代の移り変わりを実感した瞬間だった。

KUIS チャレンジプログラムとは

関西国際大の支援制度。地域連携や社会貢献など、実践的な学生の活動に対して「教育的意義」「ユニーク度」「結果の具体性」などを基準に採択される。

UNN関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) http://www.unn-news.com/

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com